

いのち満ちる農(みのり)の里
 ~ 大区画ほ場整備により未来を拓く“人”(担い手)の実現を目指して ~

きょうわ
 共和地区(北海道勇払郡厚真町)



地区の紹介(特記事項)

事業地区の概要

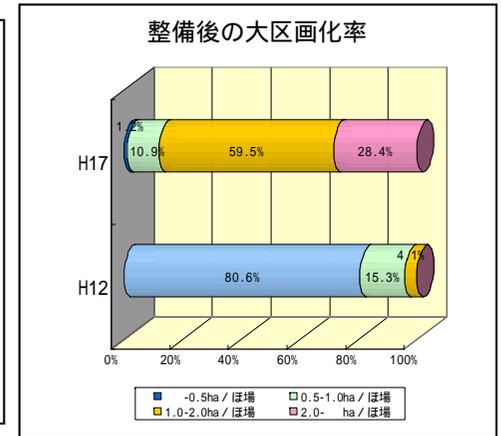
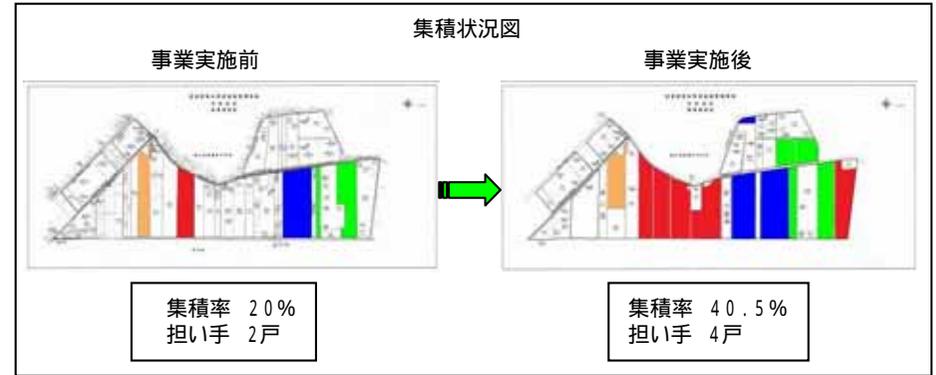
事業名: 道営ほ場整備事業(担い手育成型)(区画整理型)
 受益面積: 136.9ha(28戸)
 工期: H12~H17
 総事業費: 1,534百万円
 区画整理 111.9ha
 農業用排水 1,772m
 暗渠排水 15.0ha
 土地改良区等: 厚真町土地改良区
 農業経営タイプ: 個別経営展開型

地区の紹介

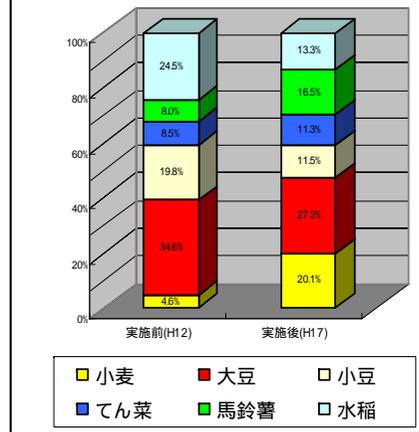
共和地区は胆振支庁東部に位置し、水稻を主体とした畑作複合経営が営まれており、特に転作作物の馬鈴薯は付加価値を高めるため早期出荷を行っている地域です。しかし、ほ場面積は50a以下が92%を占め、用排水が未分離で排水性が悪いことから効率的な複合経営の支障っていました。このような中、本事業を実施することにより1ha以上のほ場の整備率は59.6%となり、農地集積率も40.5%に向上しました。さらには、農地の汎用化により早出し馬鈴薯・麦・甜菜等の作付け面積が増加しています。今後は、大区画化された本地区のほ場条件を十分活用し、市場動向に柔軟な複合経営を推進して行きたい。



事業の実施により農地の集団化と大区画化が図られ、担い手農家4戸に農地利用を集積しました。



水田の汎用化による作付け作物の推移



たんとうまいステーション
 本地区で生産された米は、東胆振「たんとうまいステーション」にて高品質な調整を行い、胆振東地区広域ブランド米「たんとうまい(胆東米)」として販売している。